

けんこう静岡

第134号

平成30年
(2018年)
7月1日(日)

季刊 1部50円 年200円
(送料税込)

発行所
公益財団法人 静岡県予防医学協会

http://www.shsa.net/

(静岡事務所) 〒421-1292 静岡市葵区建徳1-3-43 (054) 278-7716
(藤枝健診センター) 〒426-0053 藤枝市善左衛門2-11-5 (054) 636-6461
(総合健診センター) 〒426-8638 藤枝市善左衛門2-19-8 (054) 636-6460
(沼津事務所) 〒410-0011 沼津市岡宮1210-1 (055) 921-1934
(浜松健診センター) 〒435-0006 浜松市東区下石田951 (053) 422-7800
発行責任者 石黒 満 印刷 松本印刷機



がんの予防のために生活習慣の改善を、がんの早期発見のためにがん検診受診を

第3次静岡県がん対策推進計画が今年度よりスタートします

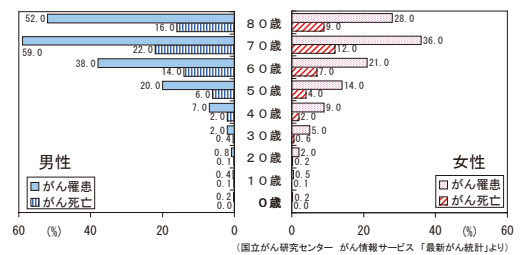
暑なお見舞い申し上げます

日頃より、静岡県の保健行政に御理解、御協力をいただき、感謝申し上げます。当課は、難病、がん、感染症、アレルギー疾患、循環器病等、さまざまな病気の対策に関する業務を担当しています。今回は、がんの予防と検診を中心に、昨年度末に策定した「第3次静岡県がん対策推進計画」を御紹介します。

●命に関わる身近な病気、それが「がん」

日本では、年間、約90万人ががんと診断され、約40万人ががんで亡くなっています。生涯にがんにかかる(罹患する)割合は、男性は62%(3人に2人)、女性は46%(2人に1人)と実は高率です。急性虫垂炎(いわゆるモーチョー)に生涯かかる割合は約7%(15人に1人)と言われていいますので、がんはモーチョーの6〜9倍かかりやすい病気です。また、生涯をがんによる死で終える割合は、男性は25%(4人に1人)、女性は16%(6人に1人)となっていて、静岡県では、昭和57年からですと、がんが死因の第1位です。

図1 年齢別に見た20年後までにがんにかかる確率とがんで亡くなる確率

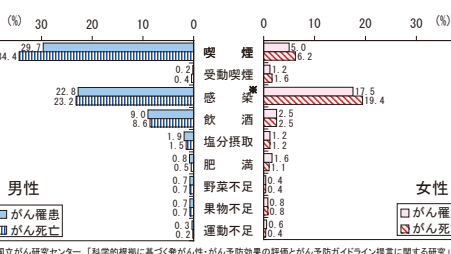


です。対策が必要ですね。

●がんにかかるのを予防するのは、日々の生活

対策として、最初に考えるのは、がんにかかる、つまり、体の中でがんができるのを極力防ぐことです。図2に、日本人のがんの罹患や死亡に影響する生活習慣上のリスク要因とその寄与割合を示しています。男女とも、①喫煙、②感染、③飲酒が、がんの3大リスク要因です。

図2 がんの罹患や死亡に影響するリスク要因とその寄与割合*



*寄与割合とは、そのリスク要因がもし無かった場合、がんの発生や死亡が同パーセント減少するを示す。
*ここでの感染は、B型・C型肝炎ウイルス、ヒトパピローマウイルス、ヘリコバクター・ピロリ菌等による感染のこと、それぞれ、肝がん、子宮頸がん、胃がんに関連する。

ク要因です。たとえば、男性では、たばこを吸わなければ、がんにかかる割合も約3割減少し、飲酒も適度(一日ビール大瓶1本まで)たしなめば、がんは約1割減少することが分かります。

感染に関しては、一度は肝炎ウイルスの血液検査を受け、B型かC型の肝炎ウイルスに感染していることが分かったら、医療機関で治療を受けることで肝がんが予防できます。

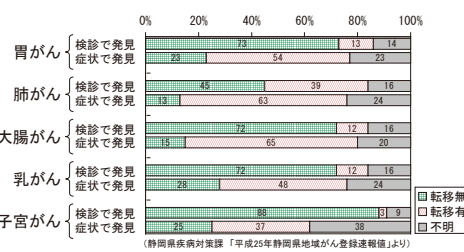
④他の人のたばこの煙を避け、⑤減塩し、⑥運動習慣をつけて、⑦やせすぎ太りすぎに注意し、⑧野菜や⑨果物をしっかりと食べる、これらもがん予防に重要です。9つのうち、できることを今日からはじめましょう。ちなみに、私は、⑤と⑥が課題です。

●こどもの予防接種率90%以上、大人のがん検診受診率50%以下

がんは、完全には予防できないので、早期発見・早期治療のためのがん検診受診が自分でできる最後の砦となります。生涯にかかる確率が0.1%にも満たない麻しんや風しんを予防するために、ほとんどの保護者がワクチン接種にこどもをきちんと受診させます。なのに、40%以上の確率でかかるがんの検診を受ける大人の割合が、どうして50%にも届かないのでしょうか。ぜひ、県民の皆さまにがん検診受診の必要性を理解していただきたいです。

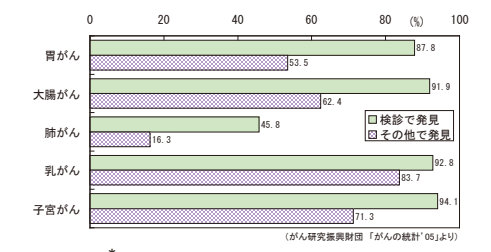
がん検診のある5つのがんについて、図3に、静岡県において検診で発見されたがんの症状から発見されたがんが、転移していたかどうかを示しています。検診で見つかったがんは、肺がんを除いて、転移の無いか7割以上ですが、症状が出てから受診して見つかったがんは、3〜6割も転移しています。がんを早期発見するには、がん検診が重要ということが分かります。

図3 検診による発見と症状での発見に分けた各がんの転移の有無



*ここでの転移とは、所属臓器への転移、隣接臓器への浸潤、遠隔臓器への転移のこと。

図4 検診発見とそれ以外の発見に分けた各がん患者の5年相対生存率



*5年相対生存率とは、あるがんが発見された人のうち5年後に生存している人の割合が、日本人全体で5年後に生存している人の割合に比べてどのくらいかを示す比率。

このがん検診による早期発見は、がん患者さんの生命予後に直結します。図4に、がん検診で発見された患者さんとそれ以外で発見された患者さんの5年相対生存率の差を示しています。肺がんを除いて、がん検診でがんが発見された患者さんの約9割は5年後にも存命です。また、がん検診によって、がん発見後も5年以上家族との時間を過ごせる患者さんを1〜3割増やすことができます。前述の生活習慣の改善は、がんにかかる率を下げますが、がん検診は、がんで亡くなる率を確実に下げるのです。

静岡県健康福祉部医療健康局疾病対策課 課長 後藤 幹生

近所や同僚の方々が声を掛け合って、市町や職場のがん検診に皆が当たり前に行く静岡県を実現しましょう。県と市町は、このために様々な取組を続けていきますので、皆さまも御協力をお願いします。

●県のがん対策推進計画の紹介

今年度から6年間の期間で進めていく「第3次静岡県がん対策推進計画」は、「がんを患う県民を、減らし、見つけ、治し、支える静岡県」を全体目標として掲げています。これは、禁煙や受動喫煙防止、生活習慣の改善等により、がんを患う県民を「減らす」

・精度の高いがん検診の受診率を向上し、がんを患う県民を早く「見つける」
・一人ひとりのがん患者に最適ながん診療を行い、がんを患う県民を「治す」
・県民全体で、県内全てのがん患者、体験者、その家族を「支える」
こうした静岡県を目指すものです。

がん対策としては、4つの柱、
Ⅰ がんの予防と早期発見の推進
Ⅱ 患者一人ひとりに合わせたがん医療の実現
Ⅲ がん患者とその家族の安心できる暮らしの支援
Ⅳ 将来につながるがん対策の基盤づくり
を立てて、計28の項目にわたる対策を進めていきます。

表1 第3次静岡県がん対策推進計画におけるがん対策28策

Ⅰ がんの予防と早期発見の推進	1 たばこ対策の強化 2 生活習慣の改善 3 がんの原因となる感染症対策の推進 4 がん検診の受診率向上と精度管理の推進 5 がん診療連携拠点病院等の整備 6 手術療法、放射線療法、薬物療法及び免疫療法の推進 7 がんゲノム医療(※1)体制の構築とプロジェクト型(※2)の推進 8 医療安全対策の推進 9 多職種チーム医療の推進 10 がんに関するリハビリテーション・形成外科・補綴医療の普及 11 がん治療に伴う支那療法(※3)の推進 12 若くしてがん、難治性がん治療のための連携の推進 13 小児がん、AYA世代(※4)のがん医療の推進 14 高齢者のがん医療の検討 15 がん登録の活用 16 臨床試験(治験)の充実	18 緩和ケアの充実 19 相談支援の充実 20 医療連携の充実 21 県民に対するきめ細やかな情報提供 22 在宅医療の充実 23 救急隊との連携・協働及び支援 24 患者団体等との連携・協働及び支援 25 がん予防・検診・治療(※5)を中心とする研究・開発の推進 26 静岡がん会議 27 人材の育成 28 がん教育の推進
-----------------	---	---

今年度から、特に重点的に力をいれていくがん対策は、以下になります。

柱Ⅰ「予防と早期発見」では、前述した、がん予防のための生活習慣改善の普及啓発と精度管理されたがん検診の受診率向上。
柱Ⅱ「がん医療」では、身体への負担の少ないロボット手術や放射線治療、薬物療法等の推進(これらの医療機器や施設の整備には県から医療機関への補助金もあります)、がんゲノム医療体制の構築による難治例に最善の治療の提供、がんによる症状や治療に伴う副作用を予防し和らげる支持療法の普及、小児や若い世代のがん患者に対する医療と支援の整備、希少がんや難治性がんの治療のための専門医療機関の連携。
柱Ⅲ「暮らしの支援」では、在宅診療での提供を含めた緩和ケアの普及推進、がん治療と仕事の両立支援を含めた相談支援の充実と連携。
柱Ⅳ「基盤づくり」では、がん患者の医療や支援に携わる人材の育成と確保、がんという病気とがんを患うことへの理解のための小学生からのがん教育。

この県がん対策推進計画は、基本理念の1番目に、「医療関係者や行政関係者だけでなく、がん患者(がん体験者を含みます)やその家族、職域の医療保険者・事業主も含めたすべての県民が参加する計画」と宣言しています。この計画のこれからの推進のために、県民の皆さま、この「けんこう静岡」の読者の皆さま、どうか御協力と御支援をよろしくお願いします。

●終わりに

「健康はあなたの財産です すこやかな明日のために」

年一回は健康チェックを!

健康はあなたの財産です
すこやかな明日のために

人間ドック
脳ドック ものわすれドック

総合健診センター ヘルスポート
〒426-8638 藤枝市善左衛門2-19-8
TEL 054-636-6460
FAX 054-636-6465
0120-39-6460